

南九州市新庁舎建設 基本構想・基本計画 策定の進め方

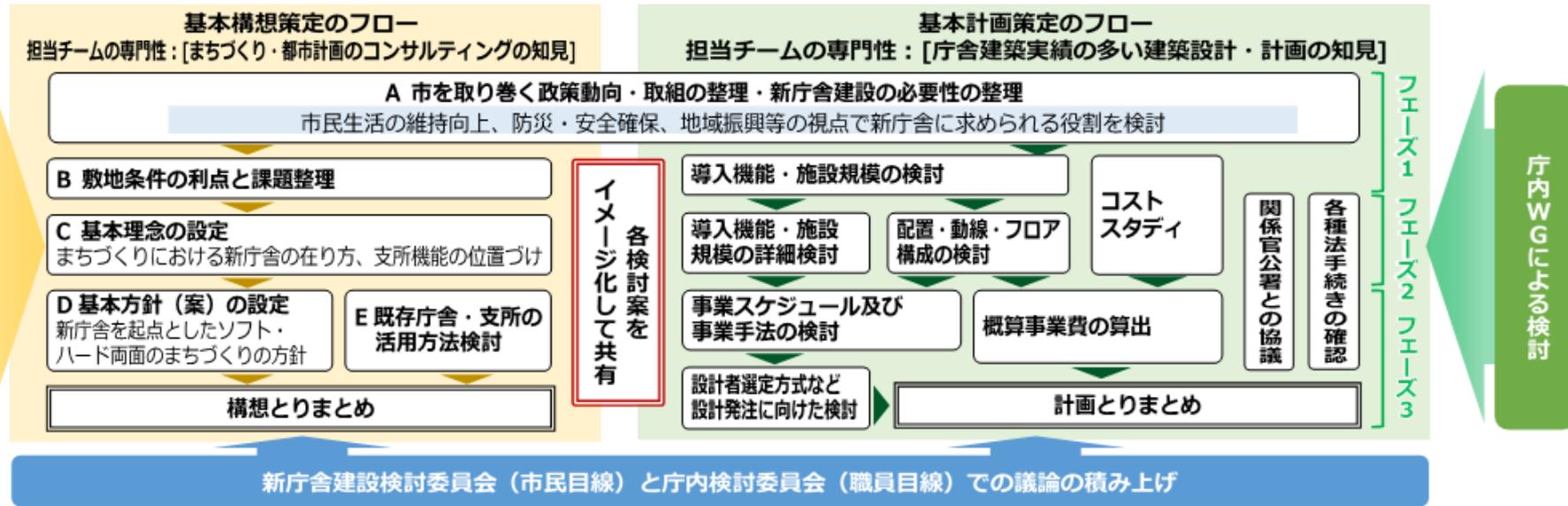
ランドブレイン株式会社 鹿児島事務所
安井建築設計事務所

令和3年7月2日

I . 基本構想・基本計画の策定について

1. 基本構想・基本計画の位置付け及び策定の流れ

- 基本構想と基本計画の位置づけを明確に、**同時並行かつ連動**して策定。

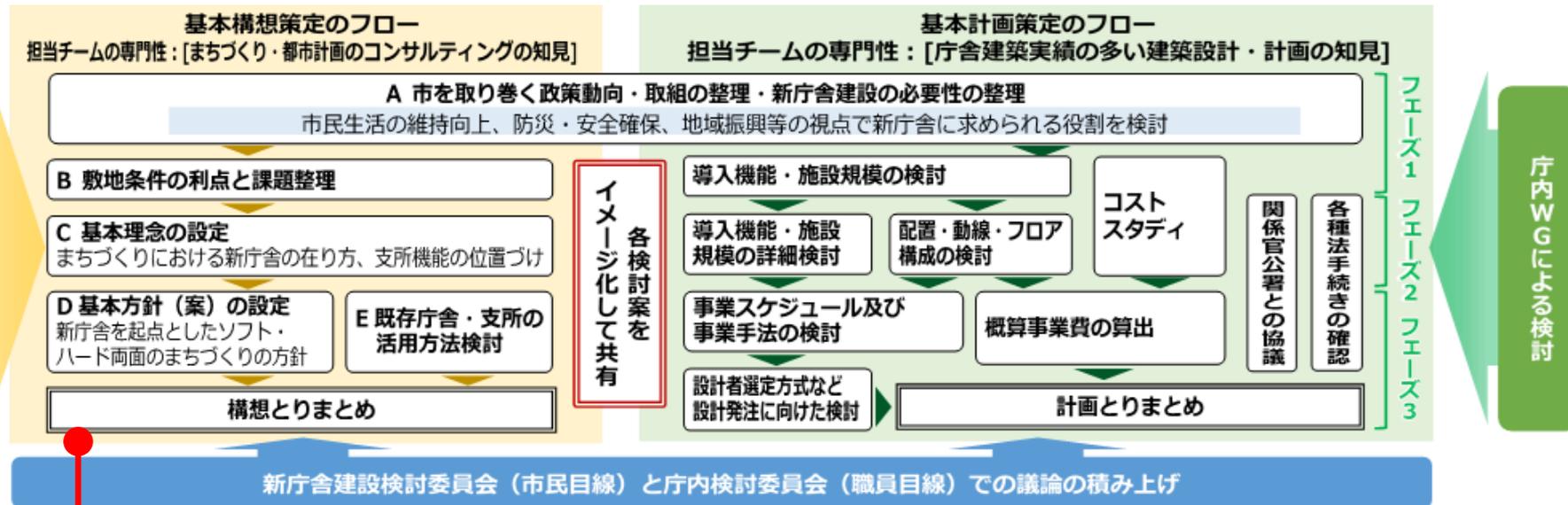


▶ **基本構想の策定:**
市民からの自由な意見を集約し、**新庁舎を起点としたこれからの南九州市のまちづくりの方向性**についてハード・ソフトの両面で検討。

▶ **基本計画の策定:**
新庁舎の機能や規模に基づいた建築計画について、庁内WGの意見を踏まえながらフェーズごとに検討。

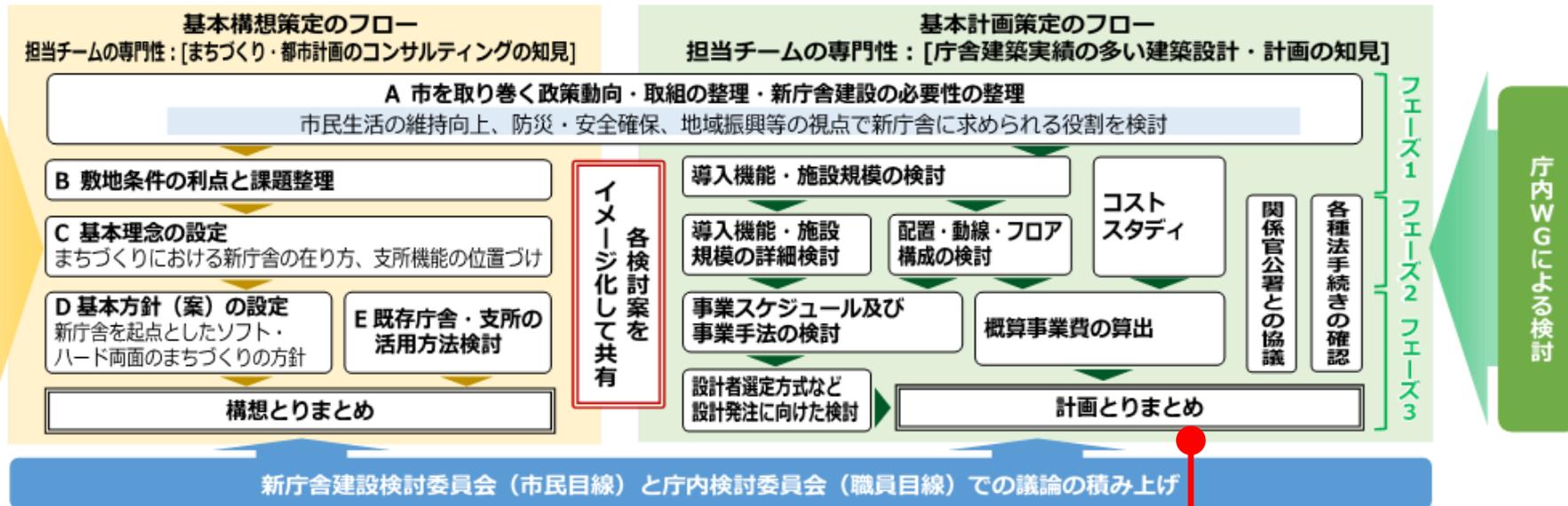
I. 基本構想・基本計画の策定について

2. 基本構想について



- ・「市民生活の維持向上」「防災・安全確保」「地域振興」等の視点で、**新庁舎が担うべき・補完すべき役割**を検討。
- ・市民・職員の両方の目線で、**新庁舎の在り方**や**新庁舎を起点としたまちづくり**の方針、市全体を踏まえた支所機能の位置付け等を検討。
- ・現庁舎・支所の土地・建物の活用策等について、現施設の活用、他施設・民間との連携など**複数の活用パターン**を**市民意向**を踏まえながらを検討。

3. 基本計画について



- ・計画初期段階から、**建設費試算や各種工事の予算配分を検討（コストスタディ）による建設費の最適化**を図る。
- ・段階ごとの建設費チェックにより、**合理的で徹底したコストマネジメント**を実施。
- ・コスト・品質・工期のバランスを見据えた比較検討による**適切な事業手法・設計者選定手法**の検討。

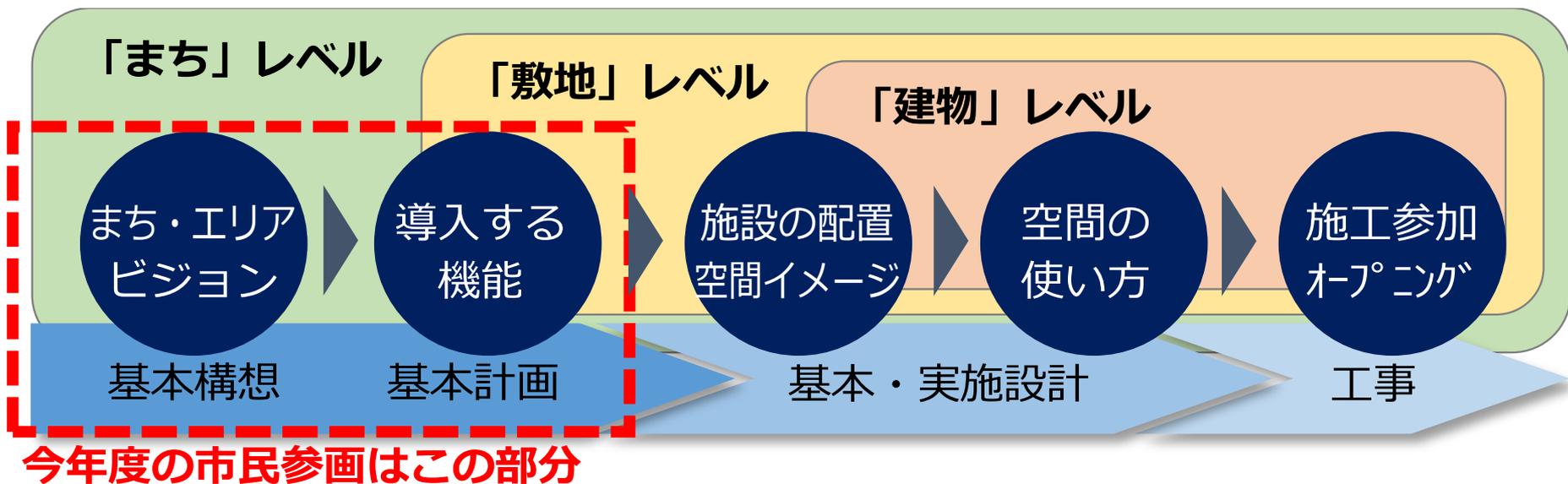
Ⅱ． 検討委員会及び市民参画について

1. 検討委員会の流れ

第1回	第2回 (本日)	第3回 (8月)	第4回 (9月)	第5回 (10月)
5月20日実施	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の進め方 (スケジュール、各企画等) 新庁舎建設の視点 (事例を交えながら) アンケート調査票案 	<ul style="list-style-type: none"> 建設候補地の現地見学及び協議 市民参画の案内 	<ul style="list-style-type: none"> 他事例から新庁舎を学ぶ勉強会 コンセプト、機能、規模、配置、フロア等の協議 	<ul style="list-style-type: none"> 建築計画の比較 (配置パターン、フロア構成、構造+コストスタディ) 現庁舎・支所のあり方
第6回 (11月)	第7回 (12月)	第8回 (1月)	第9回 (2月)	第10回 (3月)
<ul style="list-style-type: none"> 中間報告会 (建築計画案、現庁舎・支所のあり方案、市民参画・職員参画の結果) 概算工事費 	<ul style="list-style-type: none"> パブコメ案 (基本構想・基本計画) 	<ul style="list-style-type: none"> 模型等を活用した新庁舎イメージの意見交換 (パブコメ期間中) 	<ul style="list-style-type: none"> 構想・計画の答申 パブコメ結果報告 事業スケジュール 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の予定 選定方法 公募資料案

2. 市民参画の流れ

- ・今年度は「まち」のレベルから市民と語り合う
- ・次年度以降に「敷地・建物」のレベルの議論に移行



2. 市民参画の流れ

新庁舎をきっかけとしたまちづくりの方向性など、**市の考えを市民に広く周知し、丁寧に説明。**

市民参画の**実施状況や協議結果を市民に広く発信。**

【実施前】

説明資料の作成・周知

市の考え方と今後の意思決定プロセスをわかりやすく記載

市民アンケートの実施

フィードバック

市民ワークショップの開催（全3回）

フィードバック

地域説明会の開催（中間報告）

パブリックコメントの実施

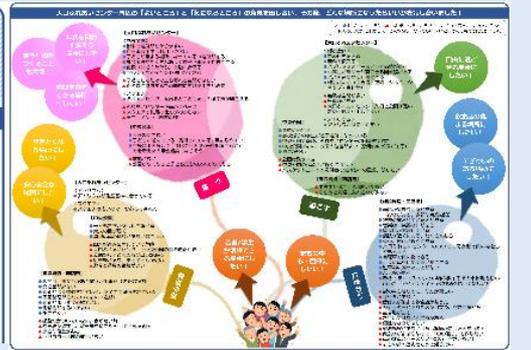
【実施後】

ニュースの作成・発信

市民参画の実施状況や結果をWEBやSNS等で随時発信

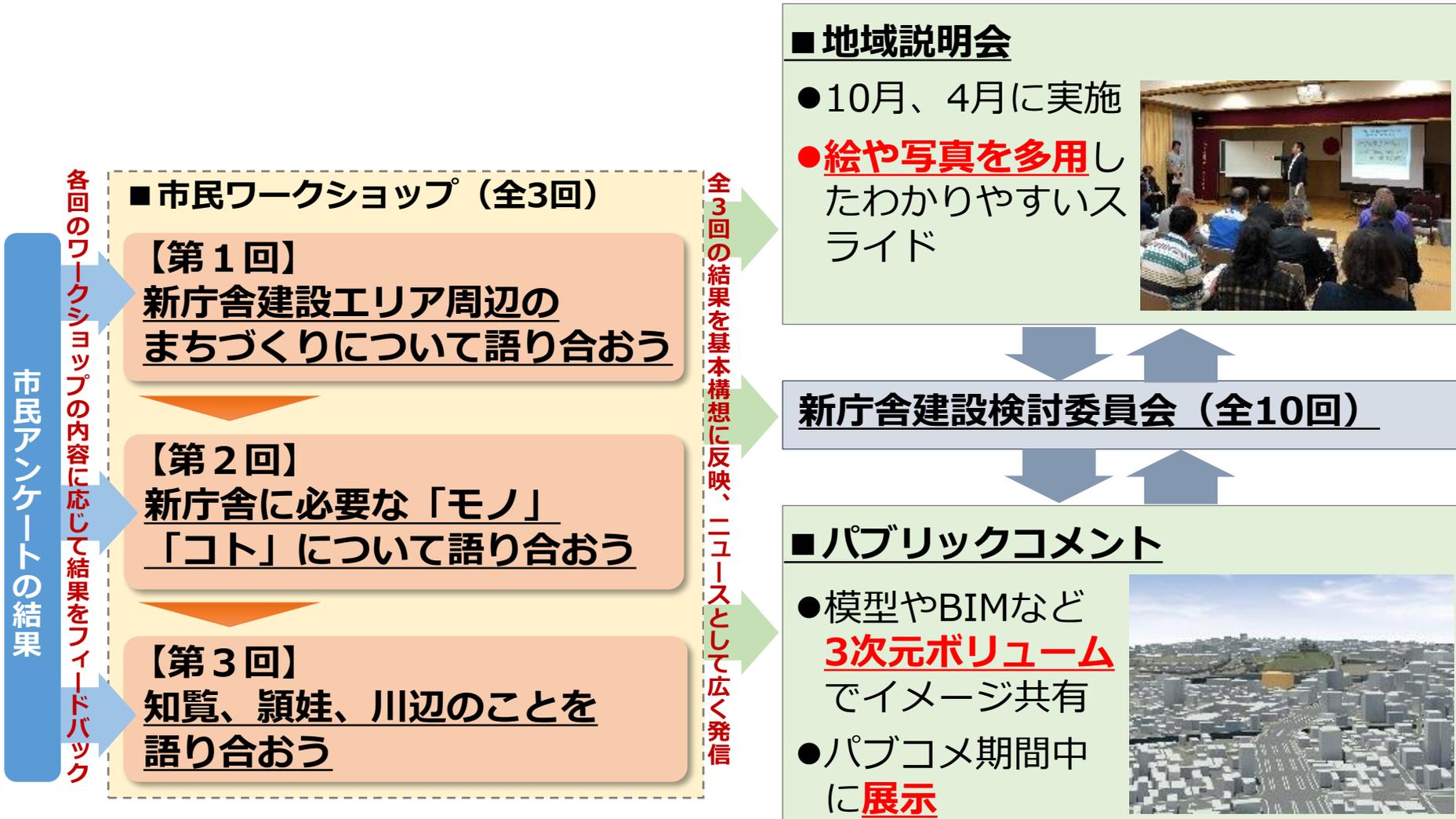
6月中旬に説明資料を全戸配布

作成するニュースのイメージ



3. 市民参画の手法について

- 市民の誰もが新庁舎建設に参加できる機会を段階的に提供



3. 市民参画の手法について

■市民アンケートの企画

- ・ 前提条件を示し、**市の新庁舎建設の意図、目的を把握**した上で回答。
- ・ **市民参画の機会が連動**するよう、調査票配布時にワークショップの案内を添付。

サンプル数	4,500 世帯（郵送配布・回収） 知覧、穎娃、川辺の各 1,500 世帯に配布
設問案	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 回答者の属性 ➤ 市役所・支所の利用頻度、印象、課題 ➤ 新庁舎に求めること、大切にすべき視点 ➤ 新庁舎にほしい機能・サービス・空間・設備 ➤ 支所に残すべきサービス ➤ 支所機能があると便利な場所・施設 ➤ 現市庁舎、支所庁舎の活用アイデア など
結果まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全体+3 地域毎に集計、分析、比較 ◇ 結果概要をまとめたニュースを作成して発信 ◇ 市民ワークショップの資料としても活用

- ・ **地域ごとの意向を分析、比較**できる、必要サンプル数を確保。
- ・ 調査対象は**世帯**。

- ・ 新庁舎建設のことだけでなく、**支所機能の在り方や現市庁舎・支所庁舎の活用**の意向・ニーズも把握。

3. 市民参画の手法について

■市民ワークショップの企画(全3回)

◆第1回は、新庁舎周辺エリアの景観ワークショップと共催

まち・エリア
ビジョン

【第1回】新庁舎建設エリア周辺のまちづくりについて語り合おう

- 少人数のグループに分かれて新庁舎周辺をまちあるき
- このエリアがどんなまちになったらよいか、どんな庁舎ができたらかを話し合う
- この「まち・エリア」のキャッチフレーズをつくる

導入する
機能

【第2回】新庁舎に必要な「モノ」「コト」について語り合おう

- 必要なモノやコトを出し合い、必要な理由を話し合う
- 特に必要なモノ・コトに選び、何を優先した方がよいのかを共有する



【第3回】知覧、顛娃、川辺のことを語り合おう

- 現市庁舎・支所庁舎の活用、支所機能の在り方、各地域の振興について各地域で話し合う
- ※各支所での開催を想定し、3地区ごとに時間を分けて1日で実施することを想定

【知覧】現市庁舎の土地・建物の活用アイデア

【顛娃】地域に必要な行政サービス、支所の活用アイデア

【川辺】地域に必要な行政サービス、まちなかの施設の再配置